

過去の出題傾向について確認しておこう！

名大入試研究【小論文】

▶ 出題一覧表

過去 10 年の名古屋大学の入学試験で出題された文章の出典を次の表にまとめた。

	出典	字数
2016	「国家・主権・地域—あるいは言葉の信じられない軽さについて」 石川健治	内容説明 600 字 意見論述 800 字
2015	『原因を推論する 政治分析方法論のすゝめ』 久米郁男	内容説明 60 字・200 字 意見論述 1000 字
2014	『ネット評判社会』 山岸俊男・吉開範章	内容説明 240 字 意見論述 800 字
2013	『生活保障 排除しない社会へ』 宮本太郎	内容説明 200 字 意見論述 1000 字
2012	『著作権の世紀 変わる「情報の独占制度」』 福井健策	内容説明 220 字・220 字 意見論述 800 字
2011	「医療安全に関する刑事司法の現状」 佐伯仁志	意見論述 300 字 意見論述 600 字
2010	『トクヴィル 平等と不平等の理論家』 宇野重規	内容説明 300 字 意見論述 600 字
2009	『アダム・スミス』 堂目卓生	内容説明 300 字 意見論述 600 字
2008	『働くということ グローバル化と労働の新しい意味』 ロナルド・ドーア（石塚雅彦訳）	内容説明 300 字・300 字 意見論述 600 字
2007	『会社はこれからどうなるのか』 岩井克人	内容説明 200 字・260 字 意見論述 600 字

▶ 分析と対策

2016 年度の出題の形式は 2014 年度と近く、課題文の実質的な要約に当たる設問と課題文の問題意識を踏まえて意見論述する設問の 2 題構成だった。受験生に期待されているのはリーガル・マインドと本文を読解する能力である。古い年度も含めた過去問をこなし、法学・政治学の専門家の新書を読むことが効果的な対策となる。